



### 「新しい生活様式」を実現するための考え方と方針は

宮田 竜二 議員

**問** 「新しい生活様式」への対応や定着を目指した事業への展開が必要になってくると予想されるが、持続可能な健全財政を確立するための「霧島市経営健全化計画」の方向性はどうか。

**答** これからの市民ニーズ等に的確に対処するためには、柔軟な財政構造の構築が不可欠なため、後継計画の策定に当たっては、より一層徹底した行財政改革を盛り込む必要があると考える。

**問** 令和元年度のふるさと納税は、返礼品の規制により、地場産品の豊富な鹿児島県内自治体では増加したが、本市は6億円弱と平成30年度と変化がない。令和2年度



### 新川北線の進捗状況と今後の計画は

池田 綱雄 議員

**問** 新川北線は、ソニー前と国道10号の渋滞緩和策として提案した道路である。現在、しらすき橋が開通して3年が経過したが、全体の完成は見通しが立っていない。始末市方面からの車は年々増え通勤時には時間400台になり、自衛隊付近の渋滞を避けるため福島地区の道路に入り込み、住民は大変な迷惑を受けている。自衛隊北側400mについては、以前防衛施設周辺整備事業で整備されている。一日も早い完成のため、自衛隊に協力をお願いできないか。

**答** 早期完成に向けて別途事業や防衛施設周辺整備事業でできないか自衛隊と協議していく。

**問** 川跡新川線の松木集落内の計画は

**答** 天降川小学校ができてから松木地区は家が立ち並び、人や車が増えていく。住民や通学生が安心して通れる歩道付きの道路が必要ではないか。



詳しくはこちら



詳しくはこちら



### 互いに支え合う地域社会を目指して

鈴木 てるみ 議員

**問** 高齢化・少子化が進む中、誰もが安心して暮らせる「地域共生社会」の実現を目指すことが大切である。そこで国の提案する新規事業を本市でも取り組むべきと考えるが、どのような検討がなされたのか。

**答** この事業は従来の「介護」「障害」「子ども」といった縦割りの支援では対応できない状況が増えていることから創設された。本市では今年度から市民の相談を一元的に受け止める「こども・くらし相談センター（愛称にじいろ）」を設置し対応を進めている。また「地域づくり」に向けた支援は、従来の地域活動を更に発展させていく必要があるが、さまざまな課題があ

### 市営住宅入居要件のハードルを低く

**問** 今年から市営住宅の入居要件が変更され「連帯保証人2人、または保証会社の利用」と選択できるようになった。一方、県営住宅は連帯保証人が1人でもよいと条件が緩和された。本市でも保証人を1人にできないか。

**答** 今年度より始めた家賃債務保証業者等による機関保証制度の利用状況等を把握していきたい。



詳しくはこちら



### 保育・教育施設の整備方針は

平原 志保 議員

**問** 保育園建て替えの補助金や小中学校の改築工事等の優先順位は、どのように決めているのか。

**答** 保育園では3歳未満の潜在的待機児童の解消を優先し整備している。学校施設は、改修や政策、維持保全に関する中長期的な方針を定める「学校施設等長寿命化計画」の策定中、本市では、学校施設の目標使用年数を「80年」と設定することを検討している。優先順位は昨年実施の学校施設に係わる老朽状況調査の結果を基にする。

**問** 学校の建て替え等はどのようになっているのか。

**答** 改修希望は12園、うち3園が中山間地域である。安全性など、優先順位を付けて対応している。新設、建て替えは、潜在的待機児童の解消を優先する方針である。

**問** 今いる子供たちの保育環境の改善も大事ではないか。また中山間地域の施設整備がされていないのではないか。

**答** 早急に改修を要するものがないことから、建て替えではなく長寿命化に必要な改修等を進める。



詳しくはこちら



### 公共施設のトイレの水洗化、洋式化は進んでいるか

新橋 実 議員

**問** 地区公民館や条例公民館、体育施設で、トイレの洋式化がされていない施設もあるが、住民が使いやすい施設にすべきである。水洗化できないのであれば、洋式便器への変更や手すりの取り付けなどはできないか。

**答** 3か所の条例公民館が汲み取り式であり、今後水洗化について検討していく。その他施設の洋式化については、現在少

**問** 更新許可申請が定められているが、設置者への指導状況はどうか。

**答** 過去に指導を行った件数は、平成29年度115件、平成30年度が57件、令和元年度が39件である。今後も違反広告物が分かった場合はしっかりと指導していく。



施工前 施工後



詳しくはこちら



### 戦後75年——。今、なすべきことは

愛甲 信雄 議員

**問** 本市は戦後の記憶を残すために、どのような取組をしているか。また、学校ではどのような平和教育をしているか。

**答** 本市にある戦争遺構は特攻基地であった、第一国分、第二国分基地の跡や周辺に残る関連施設、JR大隅横川駅舎等に残る機銃掃射の痕跡などを把握している。

**問** 肥薩線の利用促進のために修学旅行での活用をJR九州と早急に協議すべきではないか。

**答** 速やかにJR九州支社長と協議を行い、「はやとの風」の早期の運転再開を要望するとともに、定期運行再開までの間、当該車両を「団体向けの臨時便」として活用する提案をした。



第二国分基地司令壕跡



詳しくはこちら